



(公財) 山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



<京都市 同時発表>

京都市動物園との「野生動物に関する研究及び教育普及の 連携に関する協定書」の締結について

本年1月に京都市動物園が科学研究費補助金の申請が可能な学術研究機関となったことを機として、このたび、山階鳥類研究所では、京都市動物園と、双方の野生動物に関する研究及び教育の事業を更に発展させるために協定書を締結し、相互連携を強化してまいります。

つきましては、下記のとおり協定書を締結するとともに、調印式を行いますので、お知らせいたします。

記

1 協定内容

- (1) 京都市動物園で飼育する動物の研究に関する事項
- (2) 京都市動物園における環境教育及び生涯学習に関する事項
- (3) 野生動物、特に絶滅危惧種の保全に関する事項
- (4) 京都市動物園及び山階鳥類研究所が有する学術情報、資料及び試料の提供等に関する事項
- (5) SDGs17 (持続可能な17の開発目標) に関する事項

2 調印式

日時： 平成30(2018)年11月12日(月) 午前11時40分～正午

会場： 京都市役所第一応接室(本庁舎3階)

- 次第：
- (1) 開会
 - (2) 協定書署名 門川市長
 - (3) 挨拶
 - (4) 記念撮影
 - (5) 閉会

- 出席者：
- (1) 京都市
 - ・門川大作 京都市長
 - ・北村信幸 文化担当局長
 - ・片山博昭 動物園長
 - (2) (公財) 山階鳥類研究所
 - ・奥野卓司 (公財) 山階鳥類研究所所長
 - ・山崎剛史 (公財) 山階鳥類研究所自然誌研究室室長

3 今後の取組内容

協定締結を記念して、京都市動物園において、山階鳥類研究所の活動を京都市民に知っていただくための企画展（ポスター展示）と、山階鳥類研究所研究員が参加する公開シンポジウムを開催する（平成30年12月頃又は31年1月頃）。

（事業の詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。）

この件についての問合せ先

平岡考 山階鳥類研究所

広報コミュニケーションディレクター

電話：04-7182-1101

Eメール：hiraoka@yamashina.or.jp

【参 考】

京都市動物園について

京都市動物園（京都市左京区、片山博昭園長）は、明治36（1903）年4月に開園した、全国で2番目に歴史のある動物園であり、市民からの多額の寄付を得て、全国で初めて市民の手によって創設された動物園である。現在、新「京都市動物園構想」の基本テーマとして「近くて楽しい動物園」を掲げている。

絶滅が危惧される野生動物を飼育下で繁殖させる「種の保存」事業として、ニシゴリラ、アジアゾウ、グレビーシマウマの繁殖などの取組みを行うとともに、国内で絶滅が危惧されているツシマヤマネコの保護増殖事業にチャレンジする等、国内外と協力した「種の保存」に積極的に取り組んでいる。また、『大学のまち』京都の中心地にある地の利を活かし、京都市と京都大学との間で結ばれた「野生動物保全に関する研究・教育の連携協定」をはじめとして、様々な大学や研究機関との連携協定を結び、協働してきた。さらに、「京都市動物園Zoo〜っとサポーター」と名付けた市民参加型のサポーター制度を創設して、市民や企業の寄付を通して動物園運営に参画してもらうことで、動物園の更なる魅力の向上の実現を目指している。